

発行:余市協会病院

発行日:令和3年1月1日

発行人:吉田 秀明

編集人:広報委員会

お問い合わせ:0135-23-3126

VOL.199 1月号

はつらつ Plus



## 令和3年 新年の御挨拶

(社福)北海道社会事業協会

余市病院 院長 吉田秀明

明けましておめでとうございます

ここ一年、世界は感染症に席卷され、その甚大な影響のために現在もなお戦いのさなかにあります。とても祝う気持ちにもなれませんが、これまでの経過を振り返りつつ、新たな年をどう乗り切るか皆様と一緒に考えてみたいと思います。

私共、北海道社会事業協会（以下、北社協）は、今から99年前の大正11年に、北海道に行幸された摂政宮裕仁殿下より御下賜金を戴いたことを契機に本格的な活動を始めました。

その2年前まで、いわゆるスペイン風邪が猛威を奮い世界中で5～6億人が感染し、2千～4千万人が亡くなったと推計されています。

当時の余市はどうであったかといいますとインフルエンザが一段落したとはいえ巷には腸チフスなどの感染症が蔓延し、懸命に治療にあたった医師が2名殉職、隣の小樽でも「街路にさえ飢えや病で命を落とした方の遺体があちこちに転がっている有様」と小樽医師会誌に記述されています。そのような中、北社協は道内各地に公的使命を負った病院を立ち上げ今日に至っています。

それから約一世紀、私達は手強い新たなウィルスに出会い、世界中が厳しい戦いを強いられています。百年目のなんとも奇妙なめぐり合わせに不思議な思いを抱きつつも、今こそ北社協の出番であると、身が引き締まる思いです。

私達、協会病院は昨年3月に以下の方針を定めました。

- 1 感染症に対し、積極的な診療を展開する
- 2 医師会、行政と緊密に連携し、可能な限り協力する
- 3 感染症を正しく恐れ、防御を徹底する

余市病院は昨年2月20日にいわゆる「発熱外来」を開始し、3月末までに192名の方を診察、うち7名の方にPCR検査が適用されております。この間、保健所とのやり取り、PCR検査決定までに相当の時間がかかり、患者様を長くお待たせすること、結果判明まで具体的な治療が開始できないこと、などから病院独自でPCR検査センターを設置することにしました。

5月下旬に新聞報道され、また余市町からも支援のお申し出をいただき、大変有り難く思いました。

(裏面に続く)

(表からの続き)

6、7月は、一日平均7件の発熱外来対応でしたが、8月初めに病院職員の感染（札幌で友人と会食）が判明しました。その後4日目までに、病院の出入り業者を含めた全職員・入院患者に検査を行ったところ、感染者は4名に留まり、クラスター発生をギリギリのところで回避できました。

この経験と、11月以降に道内の名だたる病院が大規模感染で、その機能をダウンさせているのを見ますと、新型感染症には、どの病院も無傷でやり過ごすことは不可能と覚悟しました。しかし、各職員が濃厚接触者にならなければ病院機能は維持しうることも学びましたので、以来「ゼロ密」を徹底し大負けしない（大規模クラスターを発生させない）ことに、集中するという戦略を採っています。

また、感染症から逃げ回っているだけでは相手との付き合い方もわからないので、正しい個人防御法を身につけ、迅速な検査体制を補助として活用し、救急はもちろん日常診療に加え、感染症患者の入院診療を行うという積極的な診療を展開しております。守るためだけに防御するのではなく、相手に攻撃させないために防御を使うということです。長嶋茂雄さん（元巨人軍監督）が開幕前、どう戦うかという記者の質問に答えて「攻撃的ディフェンス」と言われたのと少し似ているかもしれません。

さて、病院を経営的観点からみますと、感染の不安からくる受診控えなどの影響は大きく外来・入院ともに計画を大きく下回っております。他の多くの業種が大幅な収入減少に喘いでいるのとなんら変わりません。ただ病院は地域社会のインフラですので嘆いたり諦めたりしている訳にはいきません。

ここは発想を変えて「現在の混乱した状況は、大胆な取り組みができる百年に一度のチャンスかも知れない」と思い直し、社会から何が求められているのか、今一度、全職員で深く分析したいと思います。

そこに「新たな想像力×創造力」を加えて、  
新しい年は「困難な状況を乗り越える画期的な取り組みを生み出す一年」と位置づけ、皆様からもエールを寄せていただけるよう励んでまいりたいと思います。  
「ゼロ密」を徹底し、新たな発想でこの危難をともに乗り越えましょう。

令和3年 元旦



## 北星学園余市高校・総合講座の生徒さんより

### クリスマスオーナメントを頂きました！

北星学園余市高校の総合講座の生徒さんより今年もクリスマスの贈り物が届きました。

素敵なオーナメントありがとうございます！



**救急件数 (11月)**

外来受診155件 うち入院32件  
救急車来院56件 うち入院22件